



問1 「次のようなことを『した』『された』ことはありますか？」

問2 「この学級(学校)は、どのくらいあなたにとって安心して生活できますか？」

アンケートの結果を見ると、前回同様、小・中学校ともに日常的に小さなトラブルは発生しているのが分かります。小学校では、ほとんどの項目で「した」「された」と回答する児童が減少しました。これは、6月の調査時よりもコミュニケーションの力や関わり方が成長してきたものと考えられます。「いじめの起らない人間関係」が少しずつですが、できつつあるようです。中学校でも減少している項目はあるものの、一部の項目では多少増加している項目もあります。

小学校、中学校ともにほとんどが小さなトラブルとして早期に解決しています。しかし、このような小さなトラブルが大きな問題へと発展する可能性もあります。市教育委員会では、今回のアンケート結果をしっかりと受け止め、今後も小さなトラブルを見逃さないように努めていきます。

【問い合わせ】市教育委員会 活き生き学校支援室
0220(34)2546

市教育委員会では「いじめの起らない人間関係や」早期発見・早期対応」を基本方針とし、いじめのない安心して過ごせる学校を目指して各校と連携しながら取り組んでいます。児童・生徒たちが、普段の学校生活で「いじめ」に対してどのように感じているか、「広報とめ(平成25年)9月1日号」の特集でアンケート結果をお知らせしました。市教育委員会では児童・生徒の現在の意識を把握するため、昨年6月に引き続き11月に2回目のアンケート調査を実施。6月調査と比較した結果をお知らせします。

